

大日本スクリーン、パッケージ業界向けのソリューションを強化 ～ ラインアップを拡充し、新たな機能も開発 ～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：青木 克彦)はこのたび、パッケージ・ラベル印刷関連製品のラインアップのさらなる拡充と新たな機能の開発により、パッケージ業界に向けたさまざまなソリューションを強化します。

近年、インターネット通販の拡大により、商品の多品種小ロット化傾向が加速しており、他商品と差別化できる付加価値を持つパッケージへのニーズも高まっています。さらに、サプライチェーンマネジメントを導入する企業が増えていることから、パッケージ印刷業界においても、必要なときに必要なものが必要な分だけ届くジャスト・イン・タイム生産システムへの対応が求められています。

当社は、これまで商業印刷分野を中心に、世界トップシェア^{*1}を誇るサーマルCTP装置「PlateRite(プレートライト)シリーズ」をはじめ、高速かつ高品質なPOD(プリント・オン・デマンド)印刷を可能にする「Truepress Jet(トゥループレス ジェット)シリーズ」、複数のデバイスを1つのオペレーション環境でコントロールするユニバーサルワークフロー「EQUIOS」など、さまざまな製品やソリューションを提供。また、サインディスプレイ印刷分野、産業用印刷分野においても、UVインクジェット印刷機による多彩なソリューションを展開してきました。

これらのノウハウと実績を基に当社は、このほどパッケージ業界向けのソリューションを強化。フレキソ版・樹脂凸版向けのCTP装置においては、最高解像度4,800dpiと特殊網点「Stabydot」による、常に安定した高品位な印刷を実現する「PlateRite FXシリーズ」をラインアップ。パッケージ印刷の高付加価値化へのニーズに応えます。また、世界初のB2サイズ対応インクジェット枚葉印刷機「Truepress JetSX」に、最大0.6ミリまでの厚紙対応機能を新たに搭載^{*2}したほか、5月3日から16日までドイツ・デュッセルドルフで開催される国際総合印刷機材展「drupa 2012」において、UVインクジェットデジタルエンボスシステム「Scodix S digital press」と連携し、UVクリアインクによるデジタルエンボス効果や新たなGlitter(きらめき)機能による高付加価値パッケージサンプルを提案。さらに、Highcon社のデジタル紙折加工・断裁システム「Highcon Euclid」との連携による、多品種小ロット化、オンデマンド化に向けたトータルソリューションも提供します。また、多品種小ロット化のニーズが高まるラベル業界向けには、独自のヘッド組み込み技術を採用したワンパスヘッド搭載の「Truepress Jet L350UV」を開発。今後は、同装置に採用したモジュール技術を生かし、新たな出力機への応用展開を図っていきます。

当社は、これらのパッケージソリューションの強化を通して、今後の成長が期待されるパッケージ印刷市場におけるさらなるシェアの拡大を図ります。そして、パッケージ印刷業界のリーディングカンパニーを目指し、今後ますます多様化するユーザーニーズに応えていきます。

※1 当社調べ

※2 オプション対応となります。